

留 学 報 告 書

記入日:2017年4月1日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ショアラインコミュニティカレッジ 現地言語: Shoreline Community College
留学期間	2016年9月～2017年3月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年3月29日
明治大学卒業予定年	2018年3月

留学費用項目	現地通貨 (USドル)	円	備考
授業料	6,800	750,000円	
宿舍費	5,250	577,500円	
食費	700	77,000円	
渡航旅費	2,000	220,000円	
その他	1,800	200,000円	保険、教科書代、交通費、日用品、娯楽、交際費
合計	16,550	1,824,500円	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舍など)	
	ホームステイ
2)部屋の形態	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3)住居を探した方法:	
	homestayfinder
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
	食事込みと書いてあったが、実際に食事が出ないときがあり、その場合は交渉する必要がある。
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
	ホストマザーに相談をした。学内にも相談窓口はあったが使わなかった。
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
	友達やホストマザーに聞いた。なるべく1人で行動しないようにした。
4)パソコン, 携帯電話, インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
	特に不自由はなかった。しかし、携帯会社によって、学校で圏外になってしまうものもあるようでした。また、家の周りで事故があった時や、嵐のために停電したことが7ヶ月で3度あった。
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
	クレジットカード、キャッシュパスポート
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
	宇和島屋という日本食スーパーマーケットや紀伊国屋もあるので、少し値段は高くなるが、日本のものが売られているので特に不自由はなかった。それ以外にも多くのアジアンマーケットがあった。
7)授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った, 渡航前に留学先大学から指示があった, 渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	
	渡航後のオリエンテーション中に履修登録をし、登録後1週間以内にクレジットカードで支払った。
卒業後の進路について	
留学を通して生じた, 今後の進路についての考えについて教えてください。	
	帰国後の就職活動に向けて、現在は日本と海外を繋ぐ架け橋のような存在になりたいと思っている。特に日本の企業の海外進出に携われるような仕事をしたいと考えている。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30単位	<input checked="" type="checkbox"/> 14 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English for Academic Purpose 099	英語
科目設置学部・研究科	English
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	David Boyle
授業内容	リサーチペーパーを書く授業。
試験・課題など	リサーチペーパー
感想を自由記入	明治大学 2 年次必修の Research and Paper Writing と同じようなものであった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Linguistic Anthropology	言語人類学
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回
担当教授	Abby Forster
授業内容	言語に焦点を当て、言語や文化、思考との繋がりを考える。
試験・課題など	レポート。
感想を自由記入	言語と人々の暮らしに興味があったので履修した。教授の授業が分かりやすく面白かったため、人気のある授業だったと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Studies	国際関係学
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)

授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	Chip Dodd, Lawrence Fuell
授業内容	グローバル化が環境、政治、経済、平和、言語、女性学、イスラム教、ビジネス等にどのような影響を与えるのか。
試験・課題など	毎週金曜日、ディスカッションのために自分の考えをまとめる。テストはあらかじめ問題が配られ、その中から数個出題されるので、各自準備をして試験に臨む。
感想を自由記入	授業のスピードが速く、ディスカッションが多かったため大変でしたが、毎回ゲストスピーカーがきて、グローバル化に関わる様々なことについて授業をしてくれるため面白いものだった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Spanish	スペイン語
科目設置学部・研究科	Spanish
履修期間	2016 冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が4回
担当教授	Amelia Acosta
授業内容	スペイン語の基本の授業。挨拶や自己紹介、動詞の活用、建物や街、家の中のもの等の単語を習得した。
試験・課題など	隔週で章ごとのテストと、中間試験・期末試験のときは、授業内テストがあった。口頭でのテストもあった。
感想を自由記入	留学生の履修者は他にいなかった。高校1年生で学ぶ範囲を3ヶ月で学ぶスピード感のある授業だった。一番基礎のスペイン語の授業だったが、現地の学生は高校でスペイン語を習った人が多いため、ついていくのが大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Public Speaking	パブリックスピーキング
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	2016 冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、生徒のプレゼン・グループワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が4回
担当教授	Heather Munsel
授業内容	全体を通して大きなプレゼン・スピーチをクラスの前で3回行う。それらに向けて、効果的なプレゼンの仕方やアウトラインの組み立て方等を勉強した。
試験・課題など	プレゼン・スピーチが主な課題であり、学期末にはレポートがあった。
感想を自由記入	Public Speaking Center というところへ行き、スピーチの練習を見てもらったり、相談したりできるので役に立った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Gender and Women's Studies	女性学
科目設置学部・研究科	Gender
履修期間	2016 冬学期

単位数	5
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 4 回
担当教授	Rachel David
授業内容	女性の権利をはじめ、差別や移民の権利、LGBT について学ぶ。自分たちはどうい う行動をとっていきべきなのか、短い劇のようなものをグループで発表することもあった。
試験・課題など	論述のテスト。
感想を自由記入	テキストを多い時は 50 ページ読み、レポート作成するという課題が毎日あり、大変でし た。女性の学生が多い授業でしたが、移民のことに触れることもあってか、アメリカらし い国際色豊かな授業だと感じた。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2015年 1月～3月	
4月～7月	TOEFL 受験。
8月～9月	志望理由書等、出願に必要なものの準備。
10月～12月	面接。
2016年 1月～3月	第1志望が通らず、1月に第2希望の学校の面接試験。 春休みに1ヶ月間の語学留学。
4月～7月	入学許可書類が届き、VISAの申請。 その他必要書類の準備。 VISAについてや、学校の説明、留學生活についての説明会が数回。Shoreline Community Collegeの担当者がいらっしまったこともあった。
8月～9月	9月8日出発。12日～1週間は留學生のためのオリエンテーション期間。その次の週から授業開始。
10月～12月	10月末に中間テスト、12月の1週目に期末テスト。 12月9日から冬休み。
2017年 1月～3月	2月に中間テスト。3月末に期末テスト。帰国。
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	高校生の頃から異文化理解を深めたいと思っており、大学生になったら絶対に、留学すると決めていたため、留学制度の整っている明治大学を選びました。また、好奇心旺盛な性格のため、学びたいことを絞りきれず、良い意味でも悪い意味でも、広く浅く学ぶことのできる国際日本学部に入學しました。次第に自分の興味があることが明確になりはじめたことや、アジアの政治経済がテーマのゼミに所属したこともあり、留学して国際関係学を学びたいと思った。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学先が決まってからも、VISA の申請をはじめ、提出する資料がとても多く忙しかった記憶があるので、早くから準備をすることが大切です。現地のオリエンテーションに参加した際に、すぐ授業を決めなければならなかったため、予めとりたい授業を決めておくことをおすすめします。また、学習面では、課題で一番苦労したのが毎日の課題の量でした。英語はもともと好きで、得意な方ではありましたが、留学前にもっと文章を読んだり、書いたりすることを意識的にやっておけば良かったのではないかと思います。
この留学先を選んだ理由	国際日本学部の留学プログラムの中で、興味がある国際関係学とジェンダー学の授業がある学校で絞りました。その 2 つ以外にも授業を履修したいと思っていたことと、4 学期制の方が半年間で 2 学期分学べると考え、2 学期制ではない学校にしました。また、ゼミでアジア太平洋の政治経済をテーマとしており、アジアの学生が多いアメリカ西海岸を希望していたことと、日本人学生が少ない方が留学先として私にあっていると考えたので、Shoreline Community College を選んだ理由です。
大学・学生の雰囲気	社会人や、子どもを育てながら通っている人もいましたが、シオラインの学生は比較的年齢が低いと思いました。コミュニティカレッジということで、ほとんどの学生が 4 年制大学へ編入することを目指しているためであるとも思います。特に留学生の大部分を占める中国、台湾、インドネシアの学生は 17 歳が多いです。カフェテリアへ行くと、中国語とインドネシア語は絶えず聞こえてくる程、沢山います。留学生が多いこともあって、International Club や、Chinese Club, Japanese Club 等、世界に興味がある学生が多いと思いました。
寮の雰囲気	シオラインには、寮がないため、私はホームステイでの生活をしており、一度引越をしました。はじめのホームステイ先は食事付きのはずだったのですが、ほとんど食事は出なかったこと、また、家から学校までの距離があり、最終のバスの時間も早かったことから引越を決めました。新しいホームステイ先はホストマザーと、隣の部屋に同じ学校の中国の学生が 1 人いました。ホストマザーもルームメイトも優しく、3 人で外食したり、ハイキングに行ったりと、とても過ごしやすい環境でした。
交友関係	大学ではなく、コミュニティカレッジであったため、学校に通いながら仕事をしている人や育児をしている人もいました。そのため、授業が終わるとすぐ帰ってしまう学生も多かったということが他の大学との違いであると思いました。放課後や休みの日に図書館やカフェと一緒に課題に取り組む機会を作ることや、グループワークを一緒にすることで仲良くなることも多くありました。 Shoreline Community College には Japanese の授業があり、日本に興味を持つる学生もいました。また、Japanese Club には日本の漫画やアニメが好きな学生が集まっているので、日本人学生にとっても良い環境だと思いました。
困ったこと、大変だったこと	アメリカでは交渉することが普通であると学びました。 授業でわからないことがあれば質問するのはもちろんのこと、私ははじめのうちは授業についていくことができなかつたので、授業後に教授のオフィスアワーを訪ね、時には 1 から説明してもらうこともありました。しかし、問題があつたらそのままにするのではなく、自分でどうにかする姿勢が必要であると感じました。また、はじめのホストファミリーは決して悪い人ではありませんでしたが、もともと食事を作ってくれと契約にあつたにも関わらず、実際は月に一度程しか食事を作ってくれませんでした。そのため、食事代を値下げしてほしいと交渉することもありました。
学習内容・勉強について	International Studies の授業も、Gender Studies も、学生同士の議論が多くありました。特に Gender Studies では、現在社会のあらゆる女性や移民・難民、LGBTQ の人々に対するステレオタイプや差別、偏見についての文献を読み、ディスカッションをし、自分たちができること・すべき行動は何かを考える授業でした。ただ考えるだけでなく、それをグループで簡単な劇にしたり、現実世界で実行に移しやすいものを考えたりするなど、大変意義があるものだったと感じています。どの授業も読む量が多く、慣れるまでに時間がかかりましたが、毎日取り組むことで少しずつスピードが速くなったり、アウトプットとしてまとめることが上手くなっていくのを実感出来ました。

課題・試験について	<p>授業がほぼ毎日あったので、13 時頃まで授業を受けたあと昼食を食べ、その後は 18 時頃まで図書館に籠って課題をする、というのが毎日のコースでした。文献を読んでまとめ、意見を書くものや、動画を観て感想を書き、それをオンライン上でディスカッションするもの等、様々でした。</p> <p>試験についても、予め出題される問題が渡され、それについて論じてレポートとして提出するものや、試験期間中に試験が実施され、その場で論じるもの等、その授業・教授によって異なっていました。</p>
大学外の活動について	<p>皆平日は毎日勉強に専念し、休日は出掛ける、という on-off の切り替えがしっかりした生活を送っていました。土日の休みではシアトルのダウンタウンへ観光に行ったり、滝を見に行ったり、映画を観て過ごすことが多かったです。また、長期の休みの際は友人と車で隣の州へ遊びに行ったり、1 人でアメリカ国内を旅行したりしました。</p> <p>シアトルのダウンタウンからフェリーで行ける Bainbridge Island という島があります。そこは太平洋戦争時の日本人との繋がりがある場所で記念館もあり、日本の歴史も知ることができました。</p>
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと、アドバイス等	<p>留学中、何か壁にぶつかると思います。それは勉強面かもしれませんが、交友関係、異文化の中で生活することかもしれません。私にとっては勉強が一番大変でした。留学先の授業についていけるようにするために明治大学で学んだ 2 年間で Type1 の授業を積極的にとる等努力してきたつもりでしたが、実際留学してみて、まだまだ自分の実力は足りないところばかりだと感じたからです。しかし、その時行き詰まっても、自分にできる小さな目標を沢山たて、それらを少しずつ達成していくことでその大変な状態をいつか必ず脱することができると思います。留学の中で苦労したことは必ずその後の自分の価値観に生きてくると思うので、困難にぶつかっても逃げずに自分を成長させるチャンスだと思って乗り越えて欲しいです。</p>

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		Linguistic Anthropology		Linguistic Anthropology			
	English	English	English	English	English	友人と映画	
午後	International Studies	International Studies	International Studies	International Studies	International Studies		ダウンタウン散策
	図書館	図書館	図書館	Ukulele Club	図書館		
夕刻	図書館	Japanese Culture Club	図書館	図書館	図書館	Japanese Club の皆と料理・カラオケ	
夜	課題	課題	課題	課題	課題		